

くらしを支え、未来を考える県営水道は、みんなの財産です

■水づくりには、多くのお金がかかります

水道は、電気やガスなどと同じ装置事業です。ダムや浄水場、管路などの施設をつくったことによる減価償却費や、それらの施設などをつくるために借りたお金の支払利息などを資本費といいます。その資本費は水をつくる費用の約6割を占めているのです。

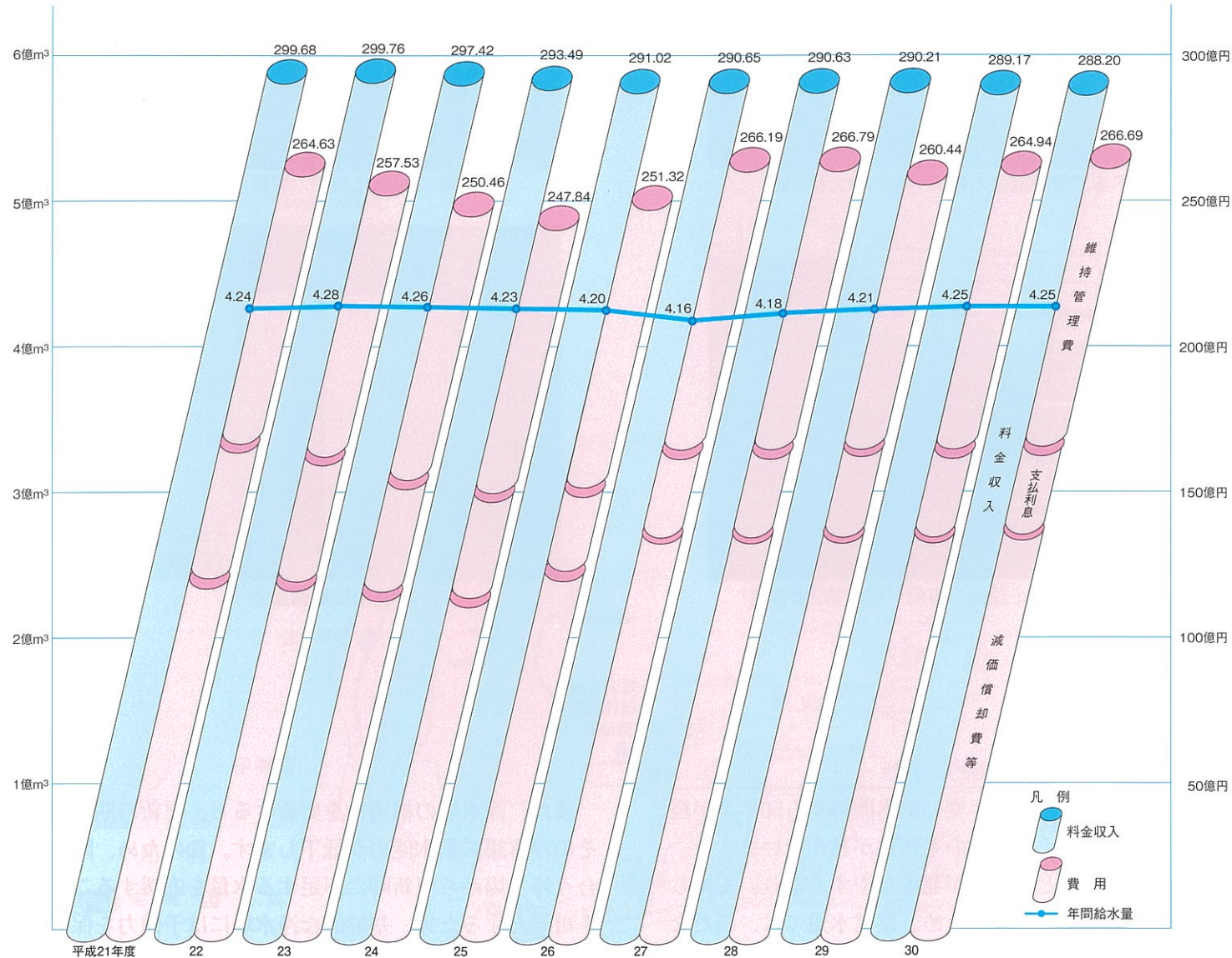
また、施設の建設費は年々上昇しているのです。これからも水づくりには多くのお金がかかります。

■限りある貴重な水です、ムダのない使い方を考えましょう

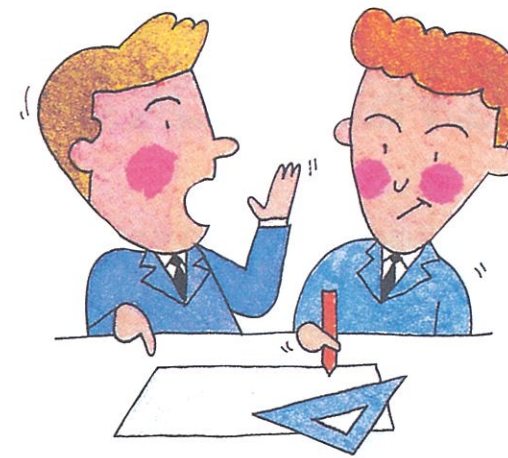
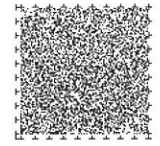
現在、県営水道では1m³の水をつくるのにおよそ63円(平成30年度)というお金がかかっています。そして、これから新しく作る水では、資本費がさらにかさんでいきますので、その分だけでも原価は確実に高いものとなります。「水は限りある貴重な公共財産」です。

私たちひとりひとりが、いま一度みんなの財産としての水道のしぐみを理解し、ムダのない水の使い方を考えてみましょう。

料金収入・費用・給水量の推移



※平成26年度以降の「減価償却費等」からは長期前受金戻入見合い分を除いてあります。



将来を見通した水道施設の計画づくりに、つねに努力しています。



水道料金は、水をつくる費用にあてられたり、借りたお金をかえすのにあてられます。

水道を利用いただいたみなさんから水道料金をいただきます。



毎日、炊事やお風呂などにきれいな水が使われています。



水道事業経営のしぐみ



計画に従って、浄水場や管路などを建設しますが、その資金の大部分は借入です。



浄水場できれいな水にして、みなさんの家庭に送ります。